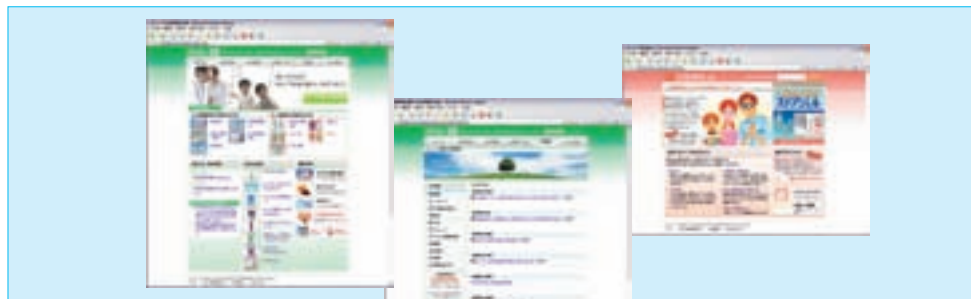


川本産業のホームページもご覧ください。



<http://www.kawamoto-sangyo.co.jp/>

株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
 剰余金の配当基準日 3月31日
 (中間配当を行う場合は9月30日)
 定時株主総会 毎年6月下旬
 単元株式数 1,000株
 株主名簿管理人 大阪市北区曾根崎二丁目11番16号
 事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
 上場取引所 株式会社東京証券取引所 市場第二部
 株式会社大阪証券取引所 市場第二部
 証券コード 3604

<郵便物送付先・お問い合わせ先>

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店	お取引の証券会社になります。	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取以外の株式売買は出来ません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

公告方法 電子公告 (<http://www.kawamoto-sangyo.co.jp>)

ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

○上場株式配当等の支払に関する通知書について

租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、平成21年6月にお支払いする配当金について株主様あてに「支払配当金額」や「源泉徴収税額」等を記載した「支払通知書」を通知することとなりました。配当金を配当金領収証にて受取られる株主様は来年の確定申告手続きに合わせて平成21年末～平成22年初に「支払通知書」を送付いたしますのでご注意ください。
 (なお、口座振込を指定されている株主様は配当金をお受取の際に送付されている「配当金計算書」が「支払通知書」となりますので、引続き確定申告の際の添付資料としてご使用ください。)

○株主様のご住所・お名前等に使用する文字に関するご案内

株券電子化実施に伴い、株主様の住所・お名前等の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等(いわゆる「外字」)が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿に記録いたしております。

このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様の住所・お名前等として記録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

なお、特別口座にて管理させていただいております株主様には、平成21年2月に「特別口座開設のご案内」をお送りしており、そのご案内の中のご注意事項で使用文字の制限についてご案内しております。

 川本産業株式会社

〒540-0022 大阪市中央区系屋町二丁目4番1号 TEL.06-6943-8951



この報告書は、環境に配慮し、古紙配合の再生紙と大豆インクを使用しています。




第79期報告書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

P1..... トップメッセージ
 P5..... 特集
 P6..... 製品のご案内
 P7..... 財務諸表
 P9..... 会社概要
 P10..... 株式情報



 川本産業株式会社
 証券コード 3604



代表取締役社長

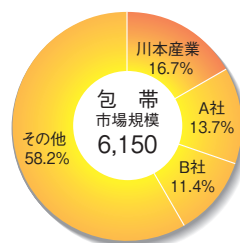
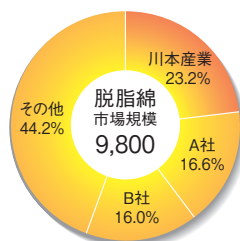
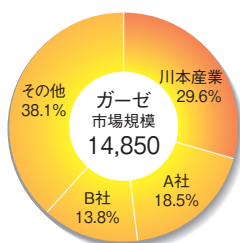
武元 康昭

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のことと拝察申し上げます。平素は格別のご支援ご愛顧を賜わり厚くお礼申し上げます。さて当社第79期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）事業年度を終了いたしましたので、事業の概況並びに主要事項をご報告申し上げます。

■ガーゼ・脱脂綿・包帯

医家向けシェア（単位：百万円）



資料：矢野経済研究所（'08～'09年版）
2007年度シェア

Q 当期の業績はいかがだったでしょうか

A 医療機関へ重点販売製品を積極的に販売したことと、感染予防関連製品へのニーズが高まり、増収増益となりました

当医療衛生材料業界におきましては、引き続き厳しい環境は継続しておりますが、冬期にインフルエンザが流行したことや、新型インフルエンザの世界的流行への懸念により感染予防関連製品に対するニーズは高まりました。

このような状況下で当社の当期の業績は、売上高299億円（前期比7.0%増）、営業利益3億86百万円（前期は3百万円）、経常利益4億9百万円（前期は経常損失1億77百万円）、当期純利益2億22百万円（前期は39百万円）となりました。なお、前期より期間内の売上高に対して割戻見込額を「売上割戻引当金」として処理することとしたために、前期に限り1ヶ月多い割戻額1億36百万円が売上高から控除されております。前期実績には、当割戻しの影響額が含まれております。

メディカル部門では、製品売上高は、厳しい業界環境の影響を受けて衛生材料製品は減少いたしました。医療機関へ重点販売製品の販売を積極的に行ったことと、感染予防に対する需要に対応する製品として、マスク・医療用使い捨て手袋・ガウン・手指消毒剤等の販売が好調に推移いたしました。一方商品売上高では、医療機関・ドラッグストア向けの医療用品・介護用品および量販店

向けの育児用品の販売が増加いたしました。

貿易部では、期後半の円相場の上昇によるマイナス要因はありましたが、中近東を中心にアジア・欧米・アフリカなどの幅広い市場に対して積極的な販売展開を行った結果、売上高は増加いたしました。これらの結果、メディカル部門全体の売上高は277億28百万円（*前期比7.3%増）となりました。

テキスタイル部門では、素材販売はほぼ前期並みとなりました。製品販売では、大手量販店へのベビー用衣料関連製品の販売を強化いたしました。期後半には急速に需要が落ち込み減少に転じました。この結果、部門全体の売上高は21億72百万円（*同2.5%減）となりました。

経費面では、販売費及び一般管理費のうち、運賃・支払手数料は売上高増加に伴って増加いたしました。前期の不良債権発生に伴う貸倒引当金繰入額が当期は減少したこともあり、49億94百万円（同0.4%減）となりました。

利益面では、売上高増加に伴う売上総利益の増加要因により、営業利益は3億86百万円となりました。

また、営業外収益で、為替差益が29百万円、デリバティブ評価益（為替予約評価益）が34百万円発生したことも影響し、経常利益は4億9百万円となりました。

以上の要因により、当期純利益につきましては2億22百万円となりました。

*印の前期比は、前期の「売上割戻引当金」の影響額136百万円を省いて分析しております。

Q 今期のトピックスについてお聞かせください

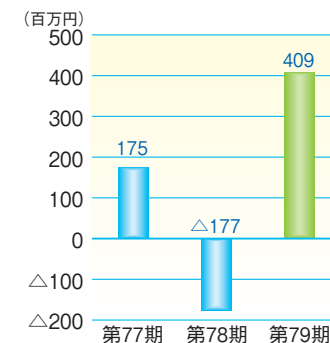
A 生産体制の効率化と高品質な製品の生産に努めてまいりました

生産体制の合理化の一環として、近年、生産効率が低下してしまっていた大阪工場の医療用ガーゼの晒工程を平成20年7月で終了し、中国上海の協力工場へ移管いたしました。移管後の協力工場での増産体制は順調に推移しております。大阪工場につきましては、医療用ガーゼの最終加工・滅菌工程、手術・処置・検査用の衛生材料・医療

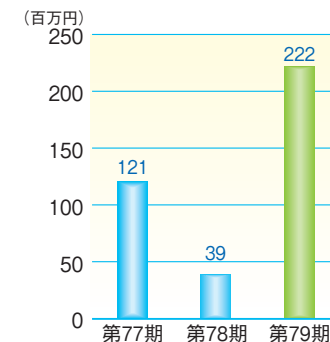
■売上高



■経常利益

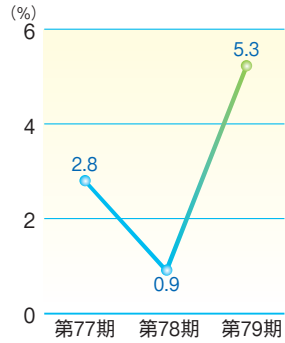


■当期純利益

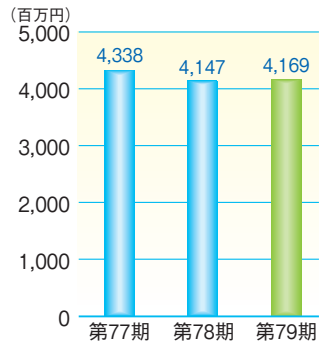


トップメッセージ

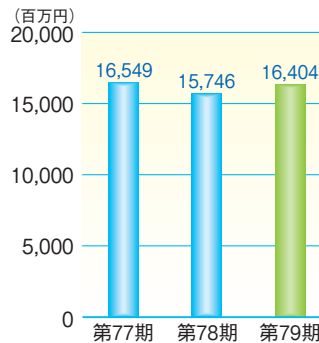
■自己資本当期純利益率



■純資産



■総資産



用品を詰め合わせた滅菌製品「セットパック製品」、医療用不織布製品、脳外科用パッド「滅菌ベンシーツ」等の生産拠点として、効率的で高品質な体制を構築してまいりました。

また、大阪工場で生産しております欧州高度管理医療機器製品「滅菌ベンシーツ」等の品質規格CEマークを平成20年11月に取得し、近将来への医療機器・衛生材料製品の輸出拡大を目指してまいります。

Q 次期の展望と今後の見通しについてお話しください

A 諸施策での安定的な増収増益を目指してまいります

次期の見通しにつきましても、医療機関の経営環境は引き続き厳しい状況が続くものと思われます。

当社といたしましては、「開発体制」・「生産体制」・「販売体制」・「管理体制」・「品質管理体制」の更なる強化・充実に、全社をあげて取り組んでまいります。

メディカル部門では、医療機関および一般消費者のニーズに沿った製品の開発を進めるとともに、生産面では、大阪・埼玉・上海の3拠点の役割の明確化と総合的な合理化策を実施してまいります。販売・物流面では、全国販売拠点および物流体制の整備・効率化をさらに推進し、利益重視の方針に基づく諸対応策をスピードを上げて実施してまいります。貿易部では、より付加価値の高い製品の販売および国内部門との連携強化をはかり、積極的な販売活動に努めてまいります。

テキスタイル部門では、消費者ニーズに沿った製品の開発と販売店との取引関係の強化を一層推進してまいります。

そして、全部門で更なる効率的な経費支出の意識徹底をはかり、一層のコスト低減につなげ、全社をあげて基本方針を全うすべき改善・努力を推進してまいります。

次期の業績につきましては、売上高313億円（前期比4.7%増）、営業利益4億89百万円（同26.4%増）、経常利益4億50百万円（同10.0%増）、当期純利益2億50百万円（同12.6%増）を予想しております。

また、配当予想につきましては、創業95周年記念配当1円を中間配当に付加し、年間配当13円（中間7円、期末6

円）とする予定であります。

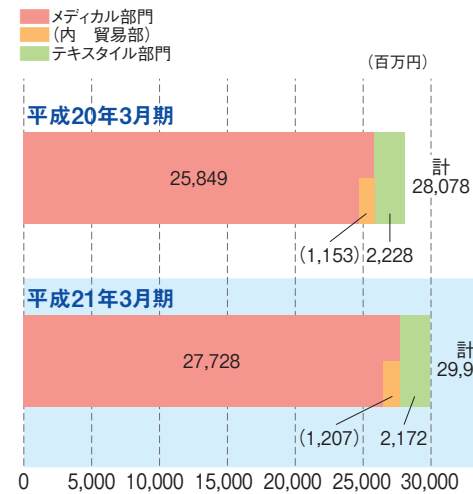
今後とも皆様の変わらぬご支援をいただきますようお願い申し上げます。

(注) 予想数値に付きましては、本資料の作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の実績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

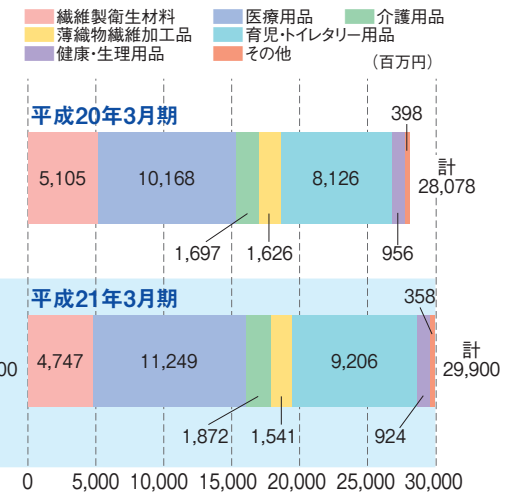


部門別・品目別の売上高

■部門別売上高



■品目別売上高



(注) 平成20年3月期の実績は、「売上割引当金」の影響額136,096千円を省いて分析しております。

特集 感染予防関連製品

国内で新型インフルエンザが発生したなかで、感染予防に関連する製品として、マスク・エプロン・グローブなどの个人防护関連製品や殺菌・消毒剤などの製品群を取り揃えており、生産・販売体制を強化しております。



个人防护関連製品



ゲル状速乾性擦式手指消毒剤（指定医薬部外品）「ステア®ジェル」



ステア®二酸化塩素スプレー（除菌剤）

製品のご案内

「ステア®ジェル」500mL

ゲル状速乾性擦式手指消毒剤（指定医薬部外品） 「ステア®ジェル」500mL（平成21年春発売）

■製品特長

べとつきが少なく良好な使用感のゲル状手指消毒剤です。有効成分のエタノールにより、優れた手指消毒効果を持ち、保湿効果の高いヒアルロン酸ナトリウム・プロピレングリコールを配合しています。

ワンプッシュで適正使用量が出ます。また、廃棄時に便利な減容（つぶすことができる）ボトルを採用しています。

※ 川本産業のホームページに「正しい手の洗い方」を掲載しています。
あわせてご覧ください。
アドレス <http://www.carename.jp/osewa/index2.html>



「サニーポ®洗浄除菌ワイパー」

環境表面清拭用ワイパー（ノンアルコールタイプ） 「サニーポ®洗浄除菌ワイパー」（平成21年春発売）

■製品特長

汚れを浮かすイオン系と汚れを溶かす非イオン系の2種類の界面活性剤を配合しています。新世代の第4級アンモニウム塩は優れた除菌力を有する界面活性剤です。

脱落繊維の少ない連続長繊維不織布を基布に採用しています。また、薬液量が多く、この1枚ですっかり・広範囲に洗浄・除菌ができます。



「マウスピュア®口腔ケアスポンジ」Sサイズ

「マウスピュア®口腔ケアスポンジ」Sサイズ （平成21年春発売）

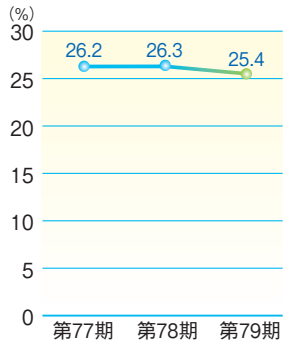
■製品特長

「マウスピュア®口腔ケアスポンジ」は、口腔内（菌の表面・菌ぐき・舌・口蓋）の汚れを効果的に取り除く製品です。汚れをしっかりからめ取る「さらカット」のスポンジ（波形の溝）で、軸が長く、口腔内のすみずみまできれいに清掃できます。Sサイズは、小児や開口域の狭い方のケアをしやすいための小さめサイズの製品で、プラスチック軸と紙軸とがあり、用途に応じて使い分けが可能です。



財務諸表

自己資本比率



資産の部

① 流動資産

流動資産は前期末に対して8億17百万円増加しました。

これは「現金及び預金」が1億4百万円増加、「受取手形」・「売掛金」が4億79百万円増加、「たな卸資産」が1億98百万円増加、「未収入金」が46百万円増加したことが主な要因です。

負債の部

② 流動負債

流動負債は前期末に対して8億66百万円減少いたしました。

これは「支払手形」・「買掛金」が4億96百万円増加、「短期借入金」・「1年以内返済予定長期借入金」・「1年以内償還予定社債」が15億71百万円減少、当期よりリース取引による新会計基準を適用したことにより「1年以内返済予定リース資産」が54百万円増加、「未払法人税等」が1億36百万円増加、「売上戻引当金」が22百万円増加したことが主な要因です。

③ 固定負債

固定負債は前期末に対して15億1百万円増加いたしました。

これは「社債」・「長期借入金」が13億35百万円増加、「為替予約」が34百万円減少、新会計基準適用により「リース債務」が2億8百万円増加したことが主な要因です。

貸借対照表

(単位:千円)

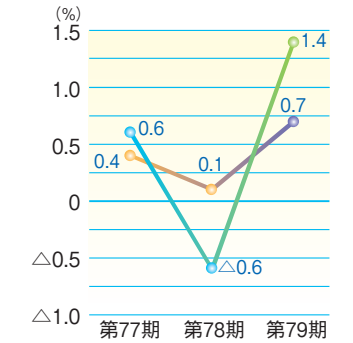
	平成21年3月期 (平成21年3月31日現在)	平成20年3月期 (平成20年3月31日現在)
① 流動資産	10,072,908	9,255,681
固定資産	6,331,209	6,490,661
有形固定資産	5,099,024	5,104,419
無形固定資産	61,278	70,622
投資その他の資産	1,170,907	1,315,619
資産合計	16,404,117	15,746,342
② 流動負債	8,625,619	9,492,085
③ 固定負債	3,608,529	2,107,060
負債合計	12,234,149	11,599,145
株主資本	4,103,226	3,959,386
資本金	883,000	883,000
資本剰余金	1,192,597	1,192,597
資本準備金	1,192,597	1,192,597
利益剰余金	2,029,909	1,885,817
利益準備金	86,100	86,100
その他利益剰余金		
配当引当積立金	5,000	5,000
別途積立金	1,000,000	1,000,000
繰越利益剰余金	938,809	794,717
自己株式	△ 2,280	△ 2,027
評価・換算差額等	66,742	187,811
その他有価証券評価差額金	66,742	187,811
純資産合計	4,169,968	4,147,197
負債及び純資産合計	16,404,117	15,746,342

損益計算書

(単位:千円)

	平成21年3月期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	平成20年3月期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
売上高	29,900,981	27,942,364
売上原価	24,519,273	22,924,434
売上総利益	5,381,707	5,017,930
販売費及び一般管理費	4,994,969	5,014,067
営業利益	386,737	3,862
営業外収益	252,431	211,291
営業外費用	229,995	392,468
経常利益又は経常損失(△)	409,173	△ 177,314
特別利益	22,476	314,813
特別損失	53,748	13,950
税引前当期純利益	377,902	123,548
法人税、住民税及び事業税	171,100	35,699
法人税等調整額	△ 15,233	48,822
当期純利益	222,035	39,026

売上高経常利益率 売上高当期純利益率



株主資本等変動計算書

平成21年3月期 (平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本	利益剰余金							自己株式	株主資本合計
		資本剰余金		利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計		
		資本金	資本準備金		配当引当積立金	別途積立金	繰越利益剰余金			
平成20年3月31日 残高	883,000	1,192,597	1,192,597	86,100	5,000	1,000,000	794,717	1,885,817	△ 2,027	3,959,386
事業年度中の変動額										
剰余金の配当								△ 77,942	△ 77,942	
当期純利益								222,035	222,035	
自己株式の取得									△ 253	△ 253
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)										
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	—	—	—	144,092	144,092	△ 253
平成21年3月31日 残高	883,000	1,192,597	1,192,597	86,100	5,000	1,000,000	938,809	2,029,909	△ 2,280	4,103,226

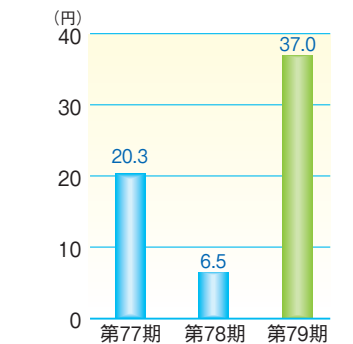
	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成20年3月31日 残高	187,811	187,811	4,147,197
事業年度中の変動額			
剰余金の配当			△ 77,942
当期純利益			222,035
自己株式の取得			△ 253
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	△ 121,068	△ 121,068	△ 121,068
事業年度中の変動額合計	△ 121,068	△ 121,068	22,770
平成21年3月31日 残高	66,742	66,742	4,169,968

キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	平成21年3月期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	平成20年3月期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	477,497	△ 171,955
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 39,089	763,272
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 346,156	△ 211,390
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 2,673	△ 6,280
現金及び現金同等物の増減額	89,578	373,645
現金及び現金同等物の期首残高	939,850	566,205
現金及び現金同等物の期末残高	1,029,428	939,850

1株当たり当期純利益



会社概要

■会社概要 (平成21年3月31日現在)

社 名 川本産業株式会社
 設 立 昭和6年1月
 資 本 金 883,000,000円
 従 業 員 数 640名 (内、契約雇用者数130名)

■役員 (平成21年6月25日現在)

代表取締役社長 武 元 康 昶
 代表取締役副社長 川 本 武 茂
 ※専務取締役 向 井 新 年
 ※取締役 川 本 藤 雄
 ※取締役 安 藤 新 年
 ※取締役 佐々木 功 雄
 常勤監査役 北 原 邦 廣
 監査役 日 上 俊 彦
 監査役 山 本 久 彦

(注) 監査役日上俊彦、山本久彦氏は社外監査役であります。
 ※印の取締役は執行役員を兼務しております。

■執行役員 (平成21年6月25日現在)

執行役員 山 野 正 博 一
 執行役員 山 野 正 博 一
 執行役員 岡 本 田 博 一
 執行役員 岡 本 田 博 一
 執行役員 岡 本 田 博 一

■事業所

● 本 社 〒540-0022
 大阪市中央区糸屋町2-4-1
 TEL.06-6943-8951

- 支 店
- 東京支店 東京都杉並区阿佐谷北6-1-6
- 営業所
- 仙台営業所 宮城県仙台市泉区泉中央3-18-4 オフィス21泉4F
 - 千葉営業所 千葉県市川市大和田4-19-2
 - 埼玉営業所 埼玉県加須市花崎5-31-1
 - 東京営業所 東京都中央区日本橋久松町11-8 日本橋118ビル3F
 - 名古屋営業所 愛知県名古屋市中区城西3-12-12
 - 京都営業所 京都府京都市南区上鳥羽岩ノ本町82-1
 - 堺営業所 大阪府堺市堺区大浜南町2-5-8
 - 南大阪第1・第2営業所 大阪府泉北郡忠岡町忠岡東3-14-20
 - 神戸営業所 兵庫県神戸市東灘区住吉南町3-3-5
 - 広島営業所 広島県広島市中区白島中町2-2
 - 福岡営業所 福岡県福岡市博多区博多駅東3-1-8 ヒロショービル2F

- 出張所
- 高松出張所 香川県高松市多肥下町21-1
- 駐在所
- 札幌駐在所 北海道札幌市東区北26条東8-2-1 サンシャイン85 208号
 - 鹿児島駐在所 鹿児島県鹿児島市西陵3-23-20
- 工場
- 大阪工場 大阪府泉北郡忠岡町忠岡東3-14-20
 - 埼玉工場 埼玉県加須市花崎5-31-2
- 物流
- 大阪和泉物流センター 大阪府和泉市伏屋町5-5-12

株式情報 (平成21年3月31日現在)

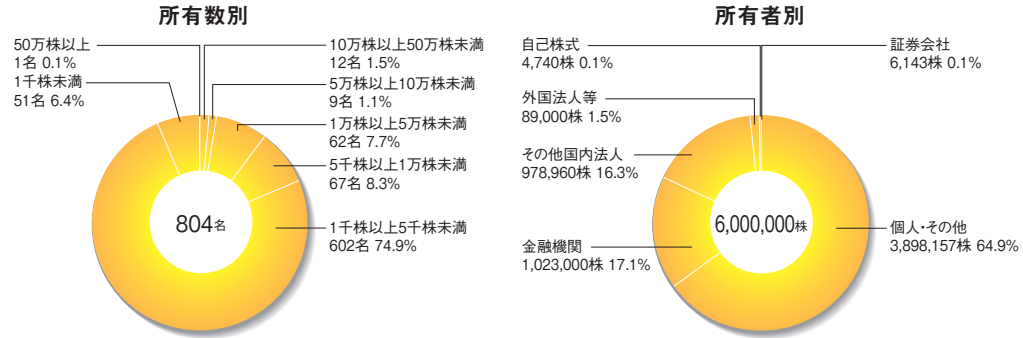
■株式の状況

発行可能株式総数..... 16,000,000株
 発行済株式の総数..... 6,000,000株
 株主数..... 804名

■大株主

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)
巴株式会社	615,960	10.3
川本社員持株会	474,250	7.9
吉田 桂三	404,000	6.7
株式会社みずほ銀行	249,500	4.2
株式会社三菱東京UFJ銀行	249,500	4.2
伊藤忠商事株式会社	196,000	3.3
株式会社りそな銀行	175,000	2.9
川本 洋之助	170,800	2.8
川本 晴男	153,600	2.6
川本 武	142,000	2.4

■株主分布状況



■株価および売買高の推移

